

平成25年 決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	市内循環バス(コミュニティバス)運行事業	総務分科会

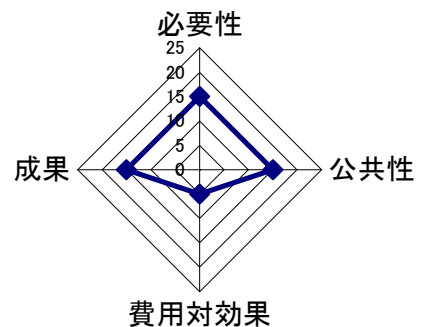
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	公共交通空白地域の解消と自家用車等を使わず移動するため、またCO2削減のためにも必要性はある。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	15	赤字のルートは料金を上げない限り、市が行わなければ運行できないので、現状ではやむおえない。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	運賃は200円だが、コストを利用者数で割ると750円ほどになる。年間利用者数約12万人でトータルコスト9267.6万円はかかりすぎている。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	通勤、通学、一部小学生の登下校にも利用され、自家用車に乗らない人も市内を安価で移動できる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)

必要性、公共性はあるがコストがかかりすぎている。利用者の少ない時間帯や地域では、デマンドを取り入れる等、大きく改善することでコストを下げる必要がある。

平成25年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	市民クラブ・維新会
-----	-----------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	市内循環バス(コミュニティバス)運行事業	総務分科会

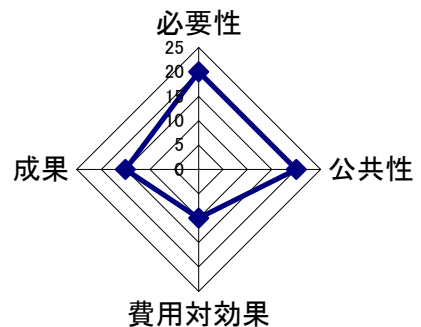
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	関鉄バス路線の廃止によって公共交通に頼らざるを得ない交通弱者を援護するために必要な事業であるが、空席だけのバスの運行を見て費用の無駄遣いだとする市民の意見もある。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ○ ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	20	関鉄の撤退によって、市が運行せざるを得ない。公共交通を確保する意味からは、費用をいくらかけるかが問題である。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	9000万近くの運行経費は、市民一人当たり年間1500円の負担である。利用者が限られている以上、利用者は運賃のほかに、応分の負担をすべきである。より効果的な運行と代替の運行方法を模索すべきである。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ○ ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	バスの利用者が増加しないという点では、全体的な運行成果は上がっていない。より市民にとっての便利な足としてのモコバスの運行が望まれる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	65
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
公共交通を確保することは高齢社会が進むなか重要である。政府の補助がなくなった現在、もろに市の財政の負担となった。社会福祉の意味からも、市民活動活性化の意味でも公共交通の果たす役割は大きい。ただ効率的なバスの運行など課題は大きい。市内地域の特徴などを考慮した、バスに代わる交通手段などの方策を考えたい。先進自治体の例を参考にし、すべて行政に任せるのではなく、地域住民に一度交通手段をどうするかを考えてもらうことも必要ではないか。

平成25年 決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	市内循環バス(コミュニティバス)運行事業	総務分科会

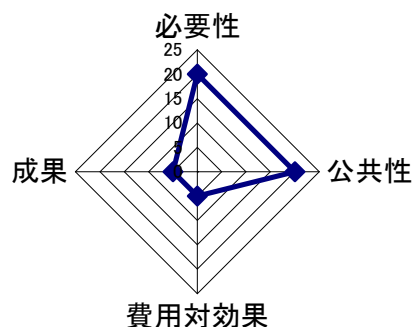
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ○ ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	20	
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	トータルコストが9,500万円もかけているのに、市民から「空気バス」と呼ばれている。空運行が目立つ。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)

空運行している実態が多いのに、継続する意味がない。思い切った見直しが必要である。1時間に1本しか来ないバスは生活の役に立っていないのが実情。

会派名	みんなの党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	市内循環バス(コミュニティバス)運行事業	総務分科会

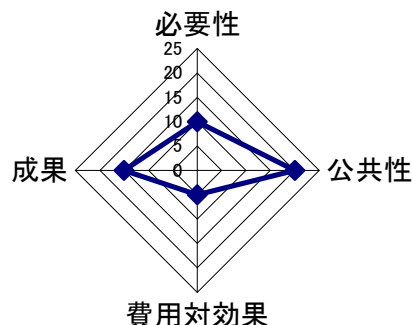
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○ 10	日中の利用者は少なく、市民全体からのニーズは限定的。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ②公共性が高い(20点) ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	○ 20	赤字が前提であり、民営化にはなじまない。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○ 5	9000万円のコストはあまりに高い。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○ 15	利用者が限定されており、市民全体への成果となっていない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
交通弱者支援は必要だが、コミュニティバスという方式以外にも対応は行えると思われる。元々補助金を前提に設計されたしくみであり、補助金廃止後の9000万円というコストはあまりに大きい。地域ごとにデマンド等他の方式を検討し、コストの減少を図るべき。

平成25年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	市内循環バス(コミュニティバス)運行事業	総務分科会

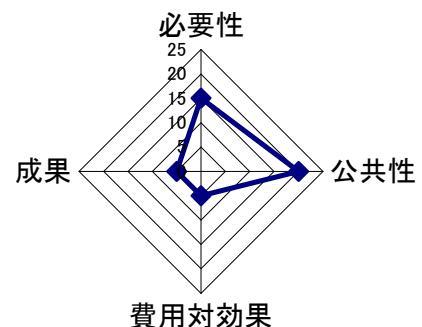
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	一部の交通弱者においては必要性が高い。
(2) 公共性 (市が行わなければならないか)	①きわめて公共性が高い(25点) ②公共性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば公共性が高い(15点) ④どちらかといえば公共性が低い(10点) ⑤公共性が低い(5点) ⑥公共性がない(0点)	20	今の運行状況、実態を見れば民間企業が行うのは極めて困難である。
(3) 費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば非効果的である(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	利用者が極めて少ない。
(4) 成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	利用者が極めて少ないということは、成果がでていたとは言い難い。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	45
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
今後の運営について再検討する必要がある。